

歩行者数、滞留者数ともに増加! ➡

都市計画部
まちづくり政策課オープンヌマヅ アーケード
「OPEN NUMAZU 2022 ARCADE」の実施結果

直通 055-934-4886

10月27日(木)から11月15日(火)に仲見世商店街にて、沼津市、UR都市機構、仲見世商店街の共催で実施した社会実験の結果速報をとりまとめました。

■実施目的

- ① 過ごしたくなる空間づくりを試行し、来訪者の行動変容を把握する
- ② 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する
- ③ 沼津駅と旧国一南エリアをつなぐ日常風景づくりにより、まちなかの回遊を促す

■実施結果

① “来訪者の行動変容” について

- ・ 通常時と比べて、仲見世商店街の歩行者通行量は増え、旧マルサン書店前、出店エリアは約 **1.5** 倍に増加
- ・ 通常時と比べて、仲見世商店街の滞留者（座っている人・立ち止まっている人）が約 **2.1** 倍に増加、座っている人に限ると約 **3.4** 倍に増加
- ・ 来訪者の **70%**以上が30分以上滞在し、約 **80%**が普段より滞在時間が長くなったと回答

② “市民のまちの変化に対する期待” について

- ・ 来訪者の **90%**以上が、OPEN NUMAZU に満足しており、今回のような空間づくりがまちなかを訪れるきっかけになると回答

※ “地域の公共空間利活用に対する機運” については、出店者・商店街店舗を対象に事後アンケートを実施中

③ “まちなかの回遊” について

- ・ 来訪者の約 **85%**が仲見世商店街と併せて周辺のエリアも訪れ、約**半数**程度が沼津駅南口・イーラ de 周辺に立ち寄ったと回答



(今回の OPEN NUMAZU で生まれた風景)

■今後の取組

歩行者通行量、滞留者数、滞留時間が増え、今回のような空間づくりがまちなかを訪れるきっかけとなり得ることがわかりました。今後、滞留や回遊を促す居心地の良い空間づくりに向けて、設えの充実など、商店街とともに検討を進めていきます。



ヒト中心のまちなかをつくるプロジェクト

OPEN! NUMAZU

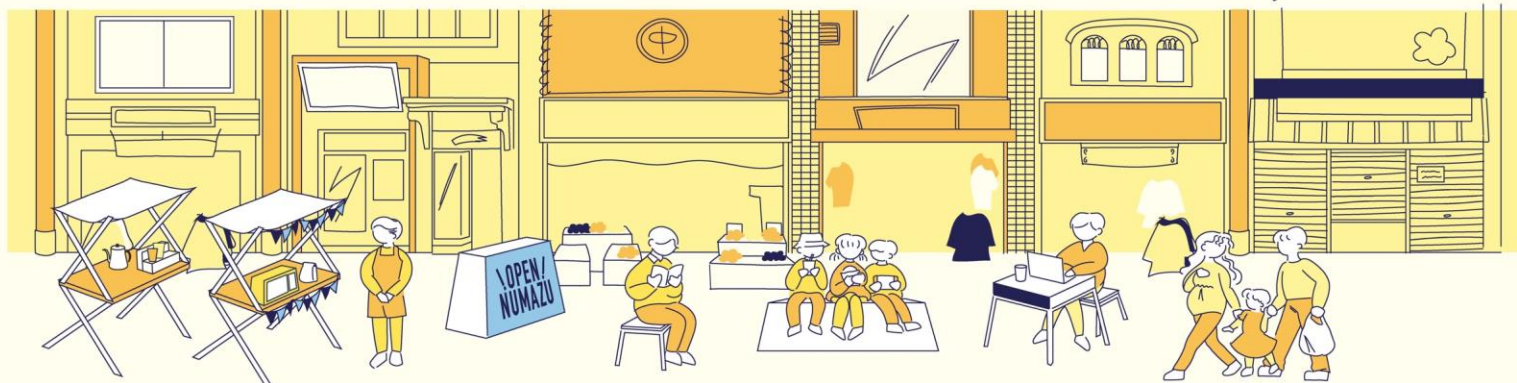
2022

OPEN
NUMAZU

ARCADE

ヒラケ
ヌマヅ

実施結果



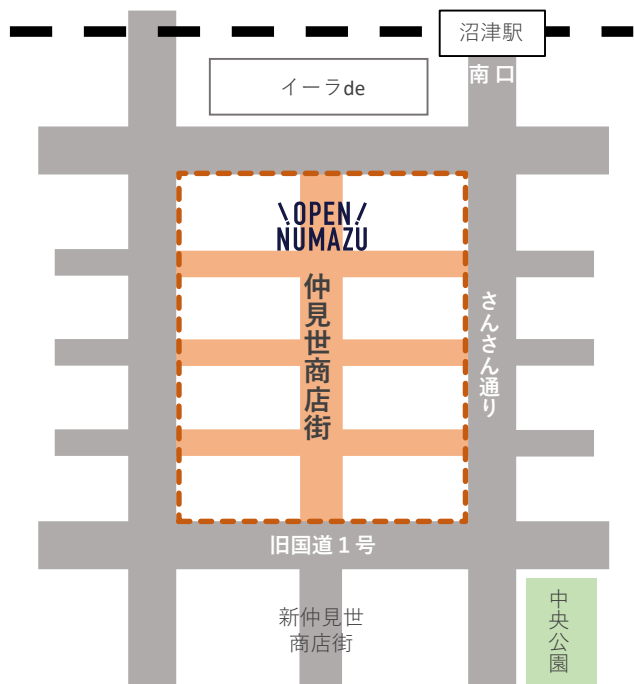
実施概要

【期 間】

令和4年10月27日（木）～11月15日（火） 各日9時～19時

【場 所】

沼津仲見世商店街

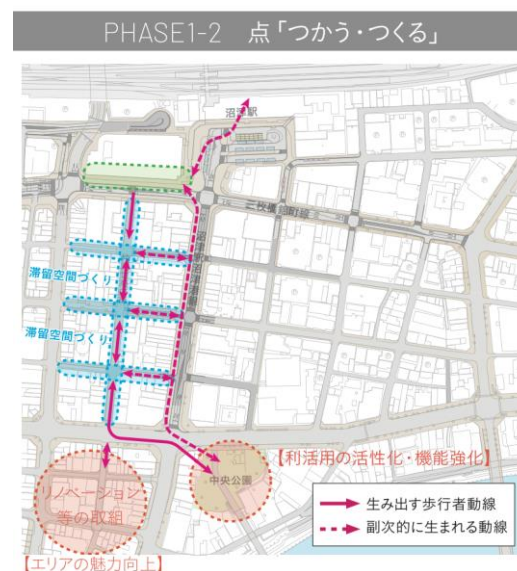


【内 容】

- 前回のOPEN NUMAZUで製作したイス・テーブルを用いた **通りとしての居場所づくり**。
- 都市空間デザインガイドラインの試行的な取組として、沿道店舗による地先空間活用など、**商店街と連携した空間づくり**。
- OPEN NUMAZUの取組に賛同いただける店舗の出店等による、**空間で過ごすためのきっかけづくり**。

【目的】

まちづくりシナリオで示すPHASE 1-2として、まちなかの回遊や滞留を生み出す空間づくりを商店街と共に実践。



目的 1

過ごしたくなる空間づくりを試行し、
来訪者の行動変容を把握する

目的 2

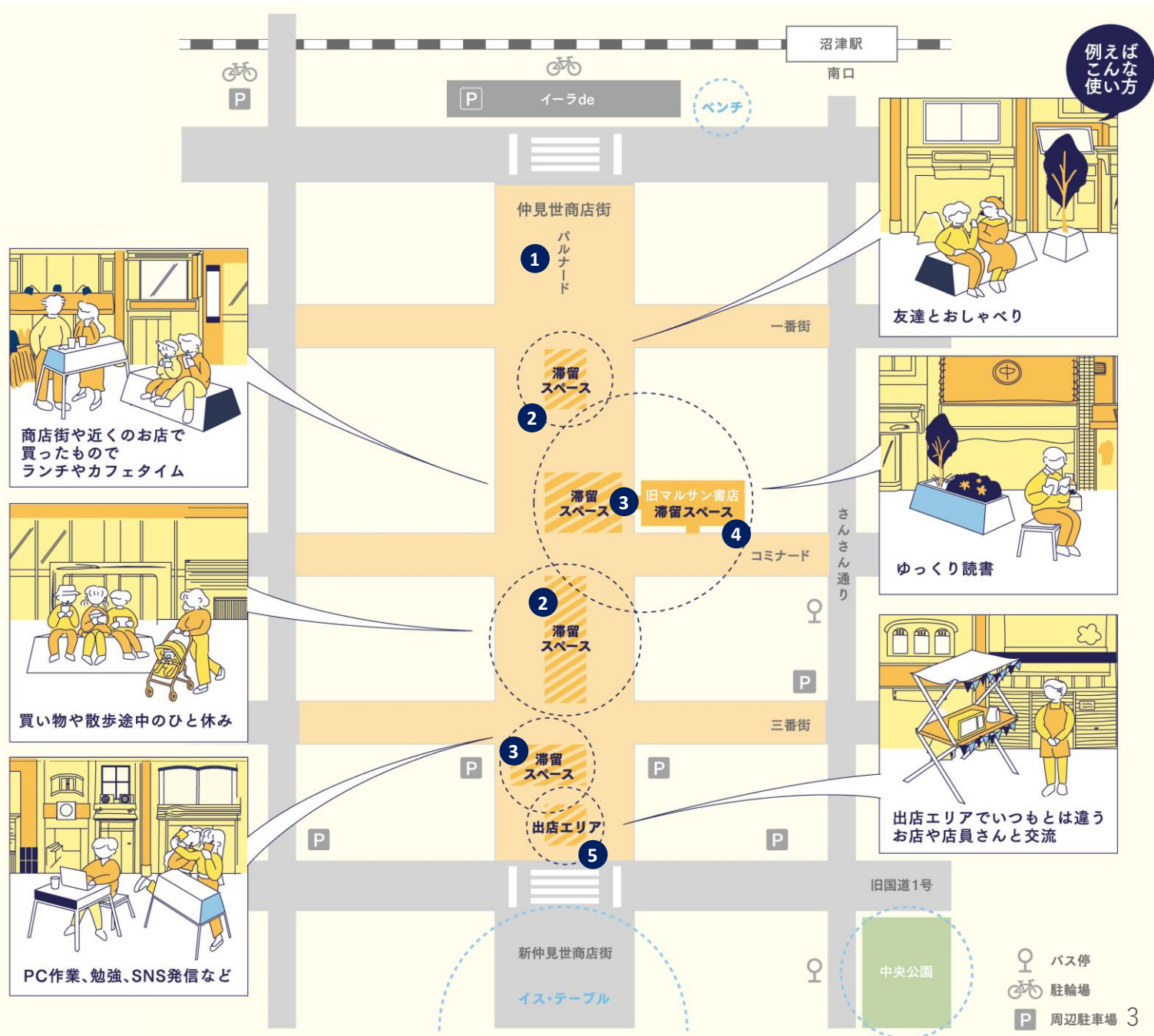
市民のまちの変化に対する期待及び
地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する
※ 出店者・商店街店舗に事後アンケートを実施中

目的 3

沼津駅と旧国一南エリアをつなぐ
日常の風景づくりにより、まちなかの回遊を促す

空間づくりの概要

- ① 風の影響を受ける可能性が高い北側の1つ目の街区（一番街以北）には什器の設置は行わない。
- ② 店舗が並ぶエリアにおいては、買い物途中のひと休憩や沿道店舗利用者の使用など、**比較的短時間の利用を狙い、通りの中央にイス・テーブルを設置する。**
- ③ 空き店舗や平面駐車場の前においては、**比較的長時間の滞在を狙い、まとまった滞留空間をつくる。**
- ④ 店舗前の滞留空間との連続性を意識して、旧マルサン書店1階内においても滞留できる空間づくりを行う。仲見世商店街と連携した写真等の展示や市立図書館と連携したリサイクル本の配布など、**まちなかで過ごすきっかけをつくる。**
- ⑤ 沿道に既存の店舗が少なく、商店街との共存が図れること、また、新仲見世商店街や中央公園といった旧国一南エリアと近接し、**接続のきっかけ**となり得ることから、**南側の街区に出店エリアを設置する。**公募により本取組に賛同いただいた、計29店舗が出店。



効果検証① 過ごしたくなる空間づくりを試行し、来訪者の行動変容を把握する

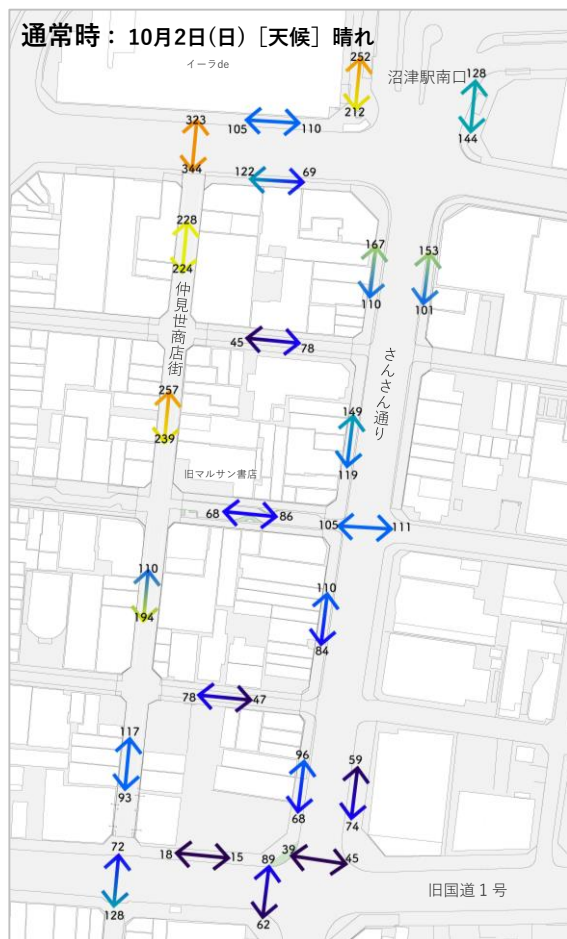
ゲートカウント調査

各地点で5分間にそこを通過する人数をカウント。10:00～17:00の各時間帯で実施した計8回の平均値を算出し、1時間あたりの人数に換算。

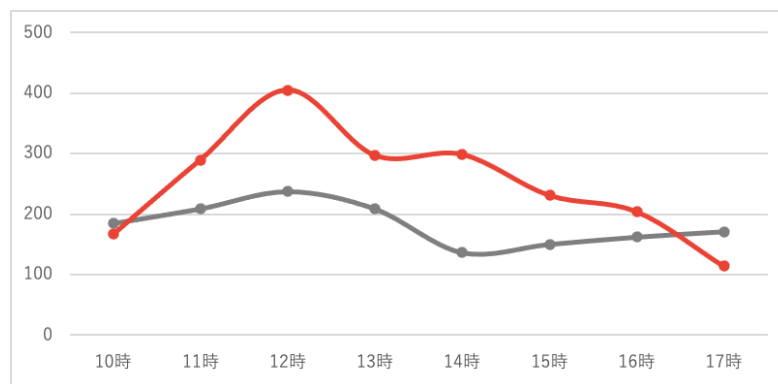
通常時と比べて、仲見世商店街の歩行者通行量は増え、旧マルサン書店前、出店エリアは約1.5倍に増加

イーラde周辺及び新仲見世商店街方面への歩行者通行量も併せて増加

【歩行者通行量分布】



【仲見世商店街の平均歩行者通行量の時間帯別変化】



※ パルナード（南北通り）の4地点の平均

OPEN NUMAZU 実施時 ●
平常時 ●

10月30日の実施コンテンツ

- 仲見世商店街
 - 出店エリアでの出店
 - リサイクル本
- 周辺エリア
- 特になし

人通り量(人/時間)

- 360人～
- 240-360人
- 180-240人
- 150-180人
- 120-150人
- 90-120人
- 60-90人
- 0-60人

効果検証① 過ごしたくなる空間づくりを試行し、来訪者の行動変容を把握する

スナップショット調査

調査員が目視により、滞留者の分布及び行動を記録。10:00～17:00の各時間帯で計8回の観測を実施。

通常時と比べて、仲見世商店街の滞留者（座っている人・立ち止まっている人）が約**2.1**倍に増加、座っている人に限ると約**3.4**倍に増加

【滞留者分布】

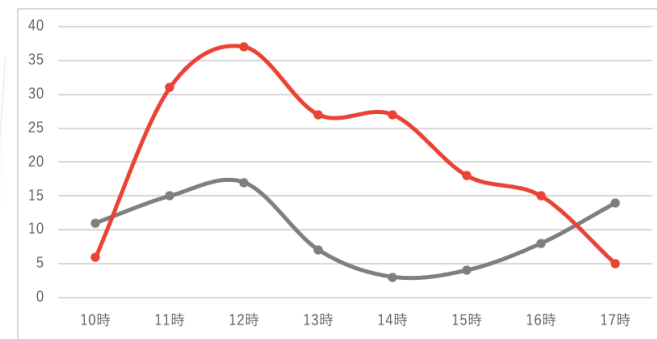
通常時：2022年10月14日(金) [天候] 晴れ

滞留者数 座っている人 → 平均 1.9人/回

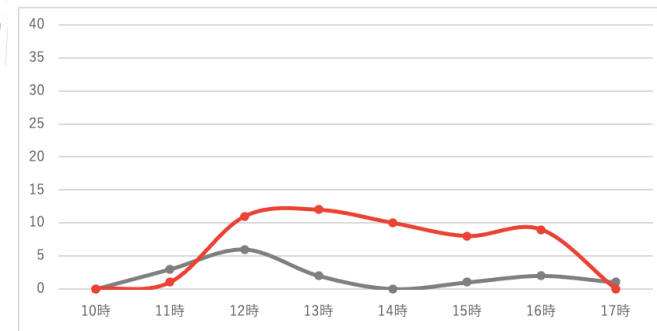
立ち止まっている人 → 平均 8.0人/回



【滞留者の時間帯別人数の比較】



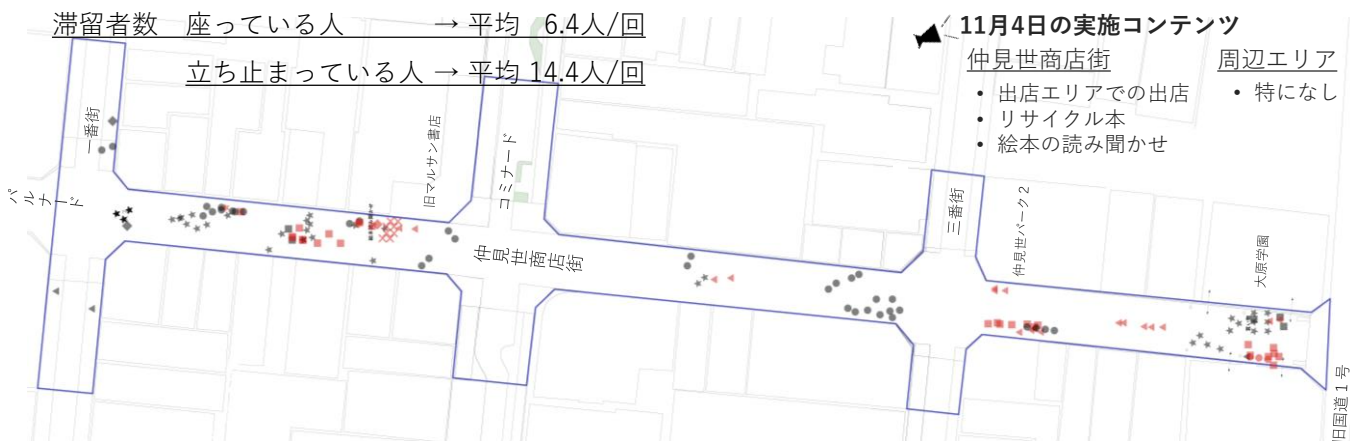
【座っている人の時間帯別人数の比較】



OPEN NUMAZU実施時：2022年11月4日(金) [天候] 晴れ

滞留者数 座っている人 → 平均 6.4人/回

立ち止まっている人 → 平均 14.4人/回



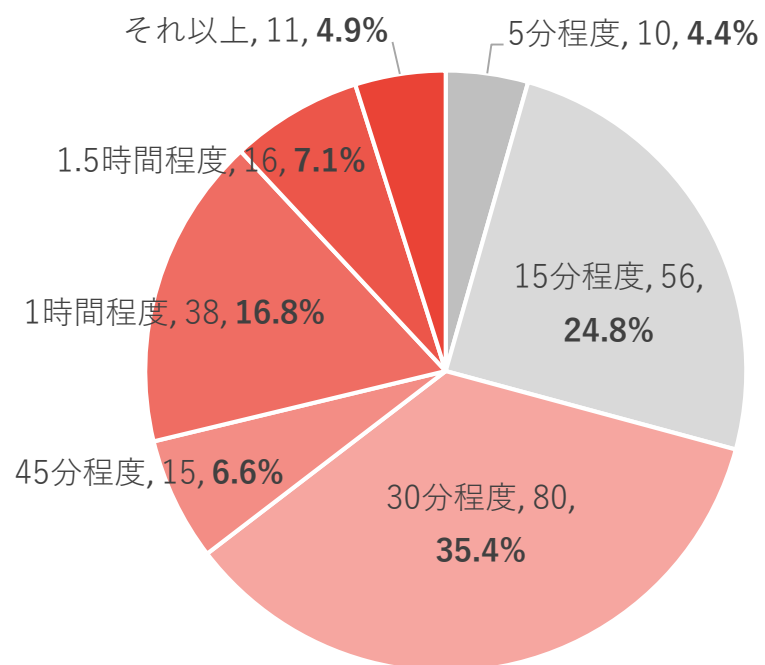
効果検証① 過ごしたくなる空間づくりを試行し、来訪者の行動変容を把握する

来訪者アンケート調査

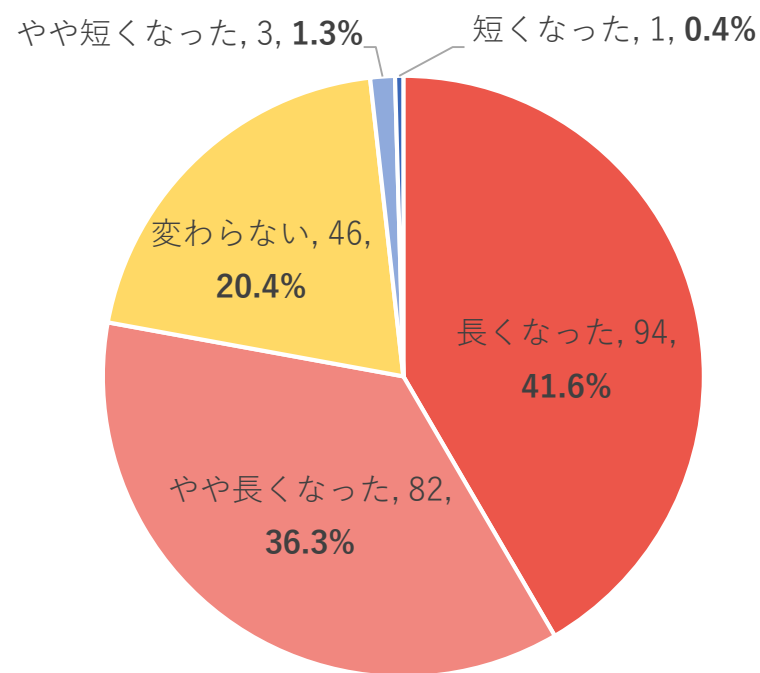
OPEN NUMAZU会場の来訪者を対象にアンケート調査を実施。（N=226）

来訪者の**70%**以上が**30分以上滞在し**、約**80%**が普段より**滞在時間が長くなったと回答**

【滞在時間】



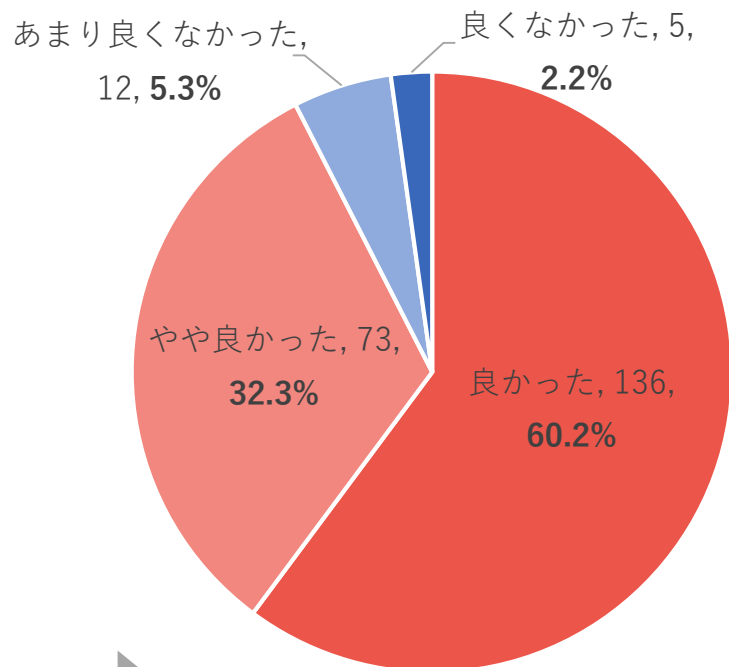
【滞在時間の普段からの変化】



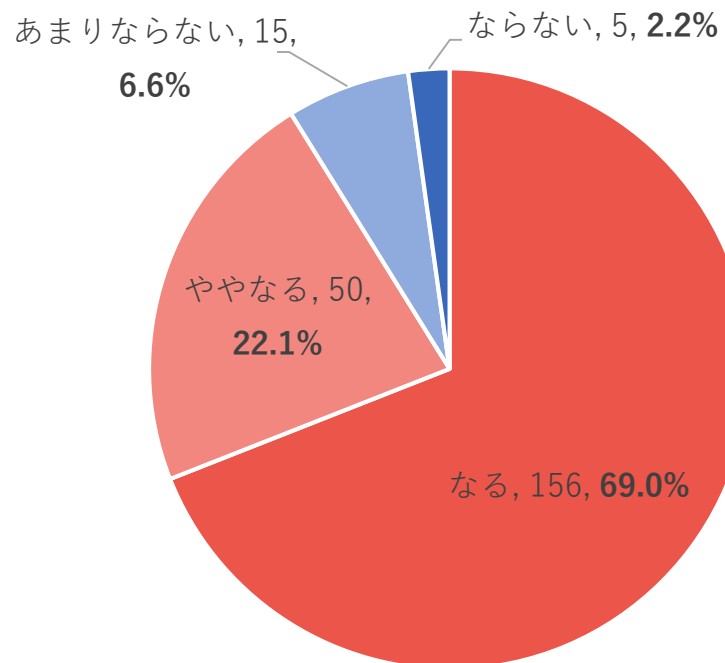
効果検証② 市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する

来訪者の90%以上が、OPEN NUMAZUに満足しており、今回のような空間づくりがまちなかを訪れるきっかけになると回答

【OPEN NUMAZUに対する満足度】



【今回のような空間づくりがまちなかを訪れるきっかけとなるか】



〔良かった理由〕

- いつもは素通りする人も多いと思うが、飲食をしたり、休憩をしたり、仲間見世で時間を過ごす人が増えていて、雰囲気が明るく感じた。
- 行ったことのないお店に触れる機会ができた。
- おしゃれなイス、テーブルに緑もあり、商店街を素敵な空間に変えることができていた。
- 座れるところ、食べられるところがあると友達を誘いやすい。
- 滞在時間が長くなり、各店舗の魅力を発見できた。
- 普段まちなかに腰を下ろして落ち着ける場所がないので、徒歩移動がメインとなる中心市街地には必要な取組に思えた。

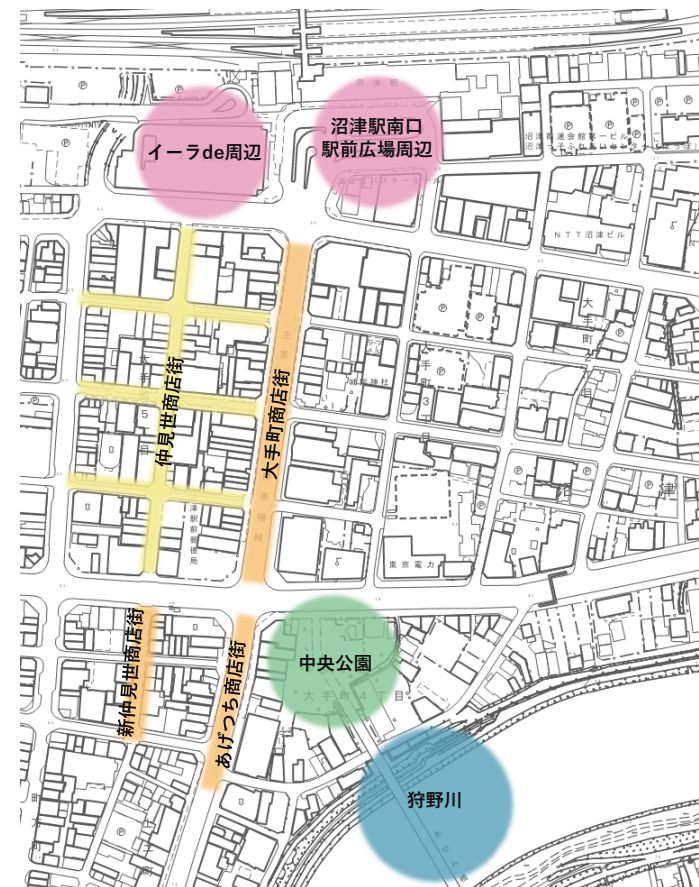
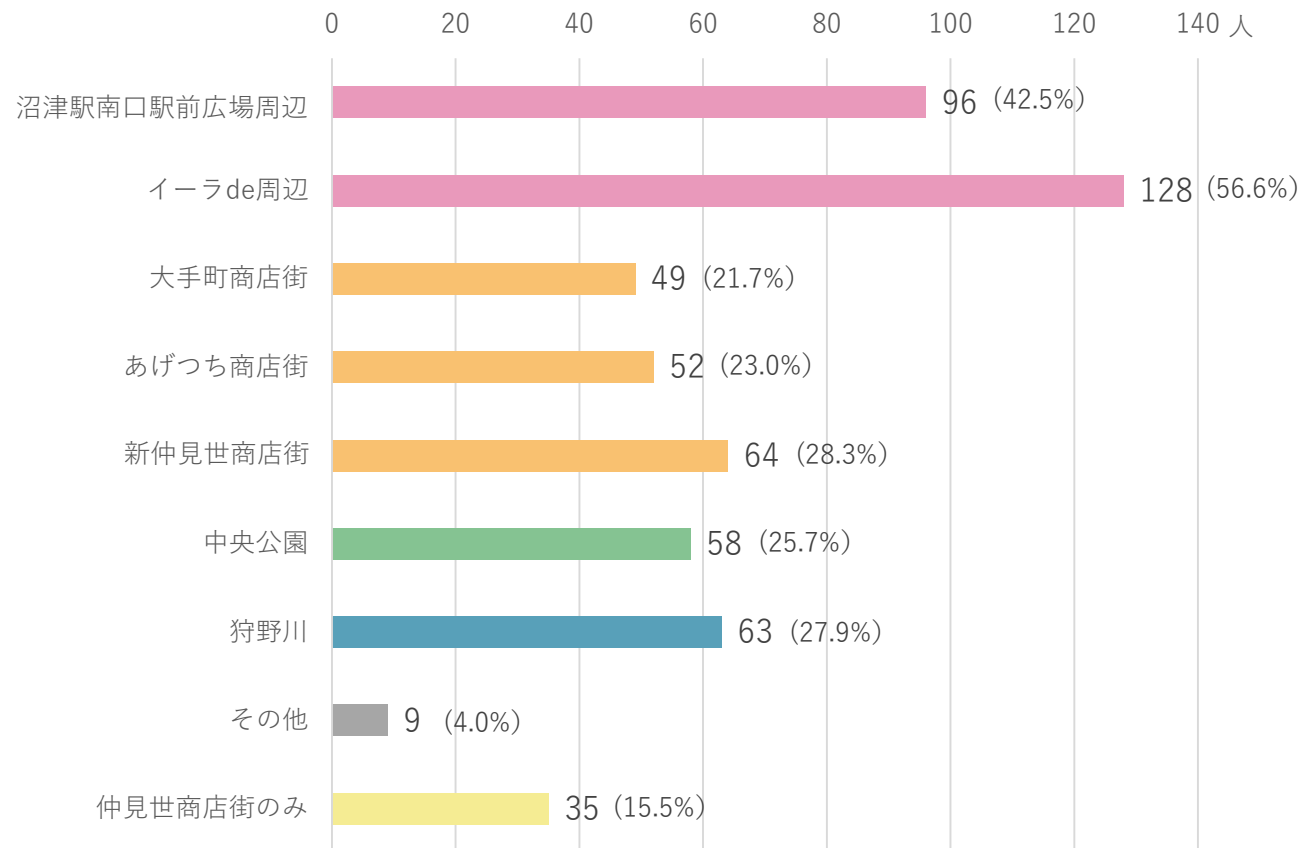
〔良くなかった理由〕

- スケジュールを見て、お目当ての店が出ている日時にあわせて行かないと満足感はないように思える。
- 既存の店舗にもより活気が出てくると良い。
- 自転車を置ける場所がない。

効果検証 ③ 沼津駅と旧国一南エリアをつなぐ日常の風景づくりにより、まちなかの回遊を促す

来訪者の約**85%**が仲見世商店街と併せて周辺のエリアも訪れ、約**半数**程度が沼津駅南口・イーラde周辺に立ち寄ったと回答

【仲見世商店街と併せて来訪したエリア】（複数回答可）



OPEN NUMAZU 2022 ARCADEで生まれた風景



OPEN NUMAZU 2022 ARCADEで生まれた風景

